

# 日本漢方協会通信

27年 6月

## 第66回日本東洋医学会学術総会

6月12～14日 富山市

今井淳会長と中嶋睦子さんが口頭発表をします

飛奈良治さんがワークショップ「目からうろこの治験例」の共同研究者になっています

### O-099

#### 桂枝茯苓丸の精油溶出成分による打撲症の効果

○中嶋 睦子<sup>1)</sup>、今井 淳<sup>2)</sup>

1) なかじま漢方薬局 2) いまい漢方薬局

〔緒言〕漢方薬は通例、生薬を配合し水を加えて煎じ服用することが多い、その煎じ滓は破棄される。桂枝茯苓丸など丸剤も多くは水で煎じたエキス剤として服用している。これらは水に溶解する有効成分は服用されるが、水に不溶性の油性成分は破棄されることになる。これは大きな有効成分を失ってはいないか疑問が生じた。即ち、生薬には一般に水溶性成分と水に不溶性の油性成分が含まれることは明らかである。漢方薬の多くは水溶性成分を疾病の治療に利用していると言える。漢方生薬の精油溶出成分に着目した。今回、桂枝茯苓丸について精油溶出部分を抽出し、その有効性を調べた。桂枝茯苓丸は金匱要略を出典とし、お血による下腹部の抵抗と圧痛、月経異常、高血圧症、打撲症等に広く用いられる漢方薬である。

〔方法〕桂枝茯苓丸は桂枝、茯苓、牡丹皮、桃仁、芍薬の5種の生薬を含む。これらの生薬を粉砕器で碎き、16号篩を通過させ細末とした。この100gにゴマ油200gを加え攪拌し室温に10日間浸漬後、濾過し、濾液100gにスクワランオイル100gを加え桂枝茯苓丸油液を製した。

〔結果〕ここで得た桂枝茯苓丸油液は赤褐色に着色し油性成分を溶出した。この桂枝茯苓丸油液を上腕部打撲し、腫脹し、打撲痛のある部位に塗布したところ、腫脹が減少し痛みを軽減した。

〔考察〕桂枝茯苓丸は5種の生薬を含み、多くの油性成分を含有し、通常ハチミツと共に製丸されるが、水で煎じたエキス剤として水溶性成分を服用し有効性を示す。今回、植物油であるゴマ油に生薬成分を浸漬させ、油性成分を抽出し、疾患部に塗布することにより打撲痛、腫脹に有効であることを見出した。漢方薬の油性成分による有効性が示された。漢方薬の新しい活用方法と考える。今後、多くの漢方薬の方剤についても実施し、製造と治験方を確立したい。

### O-100

#### 疎経活血湯の油溶出成分による関節痛、浮腫の効果

○今井 淳<sup>1)</sup> (いまい漢方薬局)

〔緒言〕漢方薬は通例、生薬を配合し水を加えて煎じることが多く、その煎じ滓は破棄される。これは水に溶解する有効成分は服用されるが、水に不溶性の油性成分は破棄されることになる。これは大きな有効成分を失ってはいないか疑問が生じた。即ち、生薬には一般に水溶性成分と水に不溶性の油性成分が含まれることは明らかである。漢方薬の多くは水溶性成分を疾病の治療に利用していると言える。一方、西洋のハーブアロマは精油成分のみを有効成分として治療に用いている。漢方生薬の精油溶出成分に着目した。今回、疎経活血湯について精油溶出部分を抽出し、その有効性を調べた。疎経活血湯は万病回春を出典とし、関節痛、神経痛、腰痛、浮腫等に広く用いられる漢方薬である。

〔方法〕疎経活血湯は当帰、地黄、センキュウ、白朮、茯苓、桃仁、芍薬、牛膝、防己、防風、龍胆、生姜、陳皮、ビャクシ、甘草、威靈仙、キョウカツの17種の生薬を含む。これらの生薬を粉砕器で碎き、16号篩を通過させ細末とした。この100gにゴマ油200gを加え攪拌し室温に10日間浸漬後、濾過し、濾液100gにスクワランオイル100gを加え疎経活血湯油液を製した。

〔結果〕ここで得た疎経活血湯油液は赤褐色に着色し油性成分を溶出した。この疎経活血湯油液を足首を捻挫し、浮腫と関節痛のある部位に塗布したところ、浮腫が減少し痛みを軽減した。

〔考察〕疎経活血湯は17種の生薬を含み、多くの油性成分を含有し、通常煎じ液で服用され水溶性成分により有効性を示す。今回、植物油であるゴマ油に生薬成分を浸漬させ、油性成分を抽出し疾患部に塗布することにより関節痛、浮腫に有効であることを見出した。漢方薬の油性成分による有効性が示された。漢方薬の新しい活用方法と考える。今後、多くの漢方薬の方剤についても実施し、製造と治験方を確立したい。